

総合戦略推進評価部会 意見整理表（全体共通意見）

		委員意見	
	委員名	意見	県の対応（案）
1	白河桃子	これからもコロナはかなり続きそうなので、 <u>対面にこだわらないで、事業を進めるという視点が必要になる。</u>	ご意見については、P 11～12の「神奈川県地方創生会議の評価」に記載しました。
2	白河桃子	報告書の書き方で、 <u>コロナの緊急支援のためにお金が出たりした部分については分けて書いた方がよいのではないかと思う。</u> <u>積み上げではなくて、ここはコロナによってできた新しいものですよ、というものは全般において区別して記述したほうが分かり易いのではないか。</u>	ご意見については、各小柱の説明箇所等に反映しました。
3	加茂圭子	（例えば）20～30代へのワクチン接種が進まないなど、一生懸命に啓発・教育をしても、 <u>なかなか情報がリーチしない層がある。</u> リーチ率を上げるような形、問題を解決するためのソリューション提供をお願いしたい。	ご意見については、P 11～12の「神奈川県地方創生会議の評価」に記載しました。
4	加茂圭子	解決できない案件というものが、かなりこのコロナ禍の間にプールされてしまっているのので、 <u>そういったプールしている案件について、吸い上げていただき、解決策を何か見出していかないと、そこにプールされているものばかりになると、いろいろな方のモチベーションが下がっていくという問題点がある。</u>	ご意見については、P 11～12の「神奈川県地方創生会議の評価」に記載しました。
5	西川りゅうじん	<u>細かいことよりもプラスの面をもっとクローズアップしていった方がよいのではないか。</u> コロナで非常に厳しい状況があるので、いろいろ頑張っていることについて、県としてもっともっとアピールを行っていったらどうか。 <u>全国ネットのニュースになるような神奈川県の明るい話題があり、そういったことをどンドン発信していくことが大事かと思う。</u> そして、ワクチンの接種先進国である、イスラエル、アメリカ、イギリス等の先進国の経済・社会動向をしっかりとウォッチし、それを生かしていく、ということが今後のために必要ではないか。 （加えて）コロナ対策の先進地域であることを明確にしていくべきだと思う。それを具体的にオンラインでどンドン活用していく中で、さらに高みを目指して、いわゆるSEO（Search Engine Optimization）対策、検索でもっと上位にあがってくるような検索エンジン最適化、あるいはSNSによる発信、そういった大きな枠組み、そして具体的にWITHコロナ、アフターコロナを見据えた神奈川県がリードして行く、そういうところを明確に打ち出していくべきではないだろうか。	ご意見については、P 11～12の「神奈川県地方創生会議の評価」に記載しました。
6	西川りゅうじん	<u>EUは2035年までにハイブリッド車も含めてガソリン自動車をすべて廃止するということを決定した。</u> <u>世界の趨勢の中で、日本がこれからデジタル・トランスフォーメーション（DX）のみならず、グリーン・トランスフォーメーション（GX）をリードしていくと</u> いうときに、 <u>神奈川県はそういった部分でどのような目標を立ててKPIを作っていくのか、電気自動車なのか燃料電池なのか水素自動車なのかなども含めて、やはり考えていかないといけない段階に入っていると思う。</u>	ご意見については、P 11～12の「神奈川県地方創生会議の評価」に記載しました。
7	種子島幸	オンラインを活用して、かなり成功を収めている事業もあるが、それはよかったで終わりではなくて、 <u>リアルでは来なかったような方もオンラインで参加したからこの数字になっているという部分もあると思うので、オンラインで開催する場合にはさらに目標を上げて上を狙っていてもよいのではないか。</u>	ご意見については、P 11～12の「神奈川県地方創生会議の評価」に記載しました。

		委員意見	
	委員名	意見	県の対応（案）
8	種子島幸	<p>PV数をKPIの指標に活用しているものについて、PV数や閲覧数がだいたい軒並み目標値を下回っている。これだけネットの世界が広がるのと、どんなに魅力的なコンテンツもSNS上やインターネット上に置いておくだけでは誰も見てくれず、なかなかそこに誘導することはできないというところはだんだん分かってきたところだと思う。コンテンツの充実ももちろんだが、なぜ目標が達成できなかったのか、PV数が上がらなかったのかということも、SNSをリツイートしたり、シェアしたりした人の反応がどうだったのか、という反応の分析・評価というようなことも、今いろいろなデジタルツールでできるようになっていると思うので、数だけの評価ではなく、その先どのように広がったのかということまで見て行くと、コロナで非常に難しい対応を迫られた中で結果を有効に生かして次につなげられるのではないかと。</p>	<p>ご意見については、P11～12の「神奈川県地方創生会議の評価」に記載しました。</p>
9	牛山久仁彦	<p>（※関委員、萩委員ご意見を受けて）総合戦略は事業の進捗状況について毎年度評価を行い、KPIをしっかりと立ててその効果検証を行っていく、という計画になっている。確かに、今後再来年も再来年もこのコロナの状況が続いてまったくKPIが意味を成さない、ということになった場合には、これはやはりKPIの見直しもしなければならぬということになるかもしれないが、とりあえず今年度については、そういった位置づけであるということからKPIを立てて、それがどうなっているのか、という推移はやはり掲載する必要がある。</p> <p>※関委員意見概要 従来の目標にあまりこだわらず、コロナ禍における県の取組みの状況や今後の方向性を重点的に記載することなどにより、県の政策の実施状況について評価を行った方が意義があるのではないかと（例えば、KPIの推進状況欄は思い切って削除するか、削除しないとしても、記載の意味があまりないところは斜線を引くなど）。</p> <p>※萩委員意見概要 昨年度、コロナの影響で実施できなかった事業等を報告する必要があるのではないかと。それよりも、コロナ禍の中でどういった工夫をしたか、来年以降に何かできることがないかという観点が必要。</p>	<p>ご意見については、各小柱の説明箇所反映しました。</p>
10	関ふ佐子	<p>次のような内容を冒頭に記載してはどうか。 県は総力をあげてコロナ対策を行っているということだが、具体的に、どのように県の職員がコロナ対策に従事することとなったのか、といった数字をあげる。これにより、一般的な施策の実施が困難となっている現状が説明可能となり、今の県の状況を示すことができるのではないかと。また、全国と比べて、コロナ対策において神奈川県が優れている点、マイナスな点を浮かびあがらせるような記載を行い、さらに、コロナ対策として行ったことについて、目標に上がっていないことで記載すべきことは何かをまずは考えてから2020年度について評価する、という方が、この非常時の評価としてはよいのではないかと。</p>	<p>ご意見については、P5の「新型コロナウイルス感染症への県の対応について」に記載しました。</p>
11	富田幸宏	<p>関委員からの意見は、コロナの影響が特殊要因ではないかということで、明らかにそういったことも含めてこの報告書の中に言い訳ではなくて、こうだったということを記載した方が、報告書の信用力をもっと高まるのではないかと、というような趣旨として理解している。そんなことも1つの方法として、今後この報告書の中に、これはこれとして何か添えるか、頭書きを入れるか、そこはお任せして恐縮だが、お伝えしたい。</p>	

部会意見整理表（基本目標1に関する意見）

		委員意見	
	委員名	意見	県の対応（案）
1	桐ヶ谷 覚	<p>県産業労働局が実施したベンチャー支援プロジェクト、ワーケーション活性化施策というものがあつた。「遊ぶ広報プロジェクト」の実証実験の場所として逗子市が選定された。コロナがまだまだ今後も続く中で、ぜひこうしたベンチャー企業への支援というものは今後も続けていっていただきたい。</p>	<p>ご意見については、P13の基本目標1「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
2	加茂 圭子	<p>体験型であったり出資型での農業推進というものについて、高校生であったり、実際の移住者にとって、ジョブスタディのような形でのロールモデルというものが見れるということはとても重要なので、そこも進めていただきたい。 ロールモデルが無い状況で「やってみましょう」という形ではなかなか難しく、画面の向こうに見えるにしても、ざっくりしたものではなくて、実際の身近なロールモデルが見えたりするとよいのではないかと。</p>	<p>ご意見については、P13の基本目標1「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
3	加茂 圭子	<p>ロボットについて、神奈川県は有数のAIの活用及び生活支援ロボットの施策を実施している（有数の）地域と考えている。AIの基礎教育に力を入れていただき、医療活用、介護ロボットなどへのAIの活用というところを見出して行けるとよい。</p>	<p>ご意見については、P13の基本目標1「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
4	ジギャン・クマル・タパ	<p>オンラインでできることは考えているとは思いますが、スピーチコンテストの実施ができなかったと記載があるが、もう少し横断的に、例えば学生にはスピーチコンテストだけではなくて、自分の地元の映像を英語で作って、それを海外に発信するというのも今は個人でできることだと思う。</p>	<p>ご意見については、P13の基本目標1「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>

部会意見整理表（基本目標2に関する意見）

		委員意見	
	委員名	意見	県の対応（案）
1	佐野淳	<p><u>マイクロツーリズムなど、県内のいろいろな今まで行かなかったところに県民を誘致するような施策や、社会の働き方が変わる中で、ワーケーションやグランピングなどでワーク・ライフ・バランスを変えようとしているところがあり、そういった対象の目的地对して、手厚く誘導するようなPRを、メリハリを付けて行っている</u>とよいのではないか。被害を受けた観光施設を補助するという意味では土日よりも平日を重視し、混雑時ではないところに人を誘導するといったような、神奈川ならではの策がもっとできればよい。</p>	<p>ご意見については、P33の基本目標2「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
2	佐野淳	<p><u>（コロナ後を見据え）外国人向けのリッチ・コンテンツについて、どのような国の人々が神奈川や首都圏辺りを対象に来られるのかということについて、想定目標として、欧米人なのか、アジアのリッチな方なのか、アラブのお金持ちなのか、など、そういったところをある程度ターゲット化して、そのような人達向けのコンテンツを考</u>えるというようにあることとよい。 また、県のいろいろな方々が海外のシドニーやロサンゼルスなどの観光施設や文化施設の方々とコミュニケーションをして、どういったことを行っていけば、県の観光・文化施設の運営など、コロナを逆手に取ったような取組みができるのか、いろいろな形のこともトライ&エラーして行って、他県にないような取組みをしていただければと思う。</p>	<p>ご意見については、P33の基本目標2「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
3	ジギャン・クマル・タパ	<p>神奈川県の特徴としては、たくさん留学生がいて、すでに卒業して帰国した留学生のOB会や県のかながわ国際ファンクラブもある。そうした帰国した方々が神奈川の魅力をオンライン上で伝えるとか、自分の国の中だけでもよいし、そういったことも戦略的に進めるとこのコロナの時期が生きてくるかなと思う。</p>	<p>ご意見については、P33の基本目標2「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
4	平松廣司	<p>P41三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進の主な取組み「『半島で暮らす』魅力を高める取組みの推進」について、半島で暮らす魅力を高めるといのは、たいへん有り難いし、我々経済界としてもそのとおりだと思うが、<u>逆に半島経済が故に難しい部分というものもありますよ、ということも、この連続講座（三浦半島地域で起業を目指す人を対象とした連続講座）の中で案内していただきたい。</u>コロナ禍、あるいはアフターコロナになって廃業という問題が増えていくときに企業はどのようにしていったらよいのかという点が非常に大事なところになってくるので、講座開設に当たっては、その点を是非、十分配慮しながら、あるいは注意しながらの連続講座をこれからもお願いしたい。</p>	<p>ご意見については、P33の基本目標2「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>

部会意見整理表（基本目標3に関する意見）

		委員意見	県の対応（案）
	委員名	意見	
1	加茂圭子	<u>年齢が限られていたりとか、地域が限られているのが放課後子ども教室の特徴であり、学校の中で放課後子ども教室を実施しているということが実態だと思うが、そういった中で限定したコミュニティづくりというものよりは、もう少し開かれた状態でのコミュニティを作ったほうが、緊急性の高い事態、災害やコロナ禍であったりしたときには有用に働いていくものと思う。例えば児童館のような広域で使えるものがよいのではないか。そういったところのファシリテートというのも行政でできるのではないか。</u>	ご意見については、P49の基本目標3「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。
2	加茂圭子	<u>P50子ども食堂への支援について、これからも一層取り組んでいきたい。コロナ禍においてはとても必要な事業の一つではないか。</u>	ご意見については、P49の基本目標3「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。
3	大塚万紀子	<u>P60主な取組み「企業へのテレワークの導入推進」での経費補助について、申請がたくさんあったということで、<u>どんなものに使われているのか、というところが分析できるようにあれば、それが恐らくさらなる促進のためのヒントになると思うので、好事例として発信をするとよい。</u></u>	ご意見については、P49の基本目標3「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。
4	大塚万紀子	<u>P60主な取組み「男性の育児参加できる環境づくり」について、これは女性の出生率といったところにも大きく影響をもたらすものと認識している。この秋から<u>男性育休に関する法律改正</u>というものがいよいよ施行され、来年以降も本格的に動いていくだろうということが言われている。実際に国会も法案が通過しており、こういった事実を知らない企業がほとんどと認識している。そのため、男性が育児に参画しましょうね、と声を上げるというよりは、<u>法律が改正されて企業の責任としてこの問題に取り組まねばなりませんよ、という形で啓発の内容やスピード感といったものは、2021年度さらにブラッシュアップしていく必要が行政の責任としてあると思う。</u></u>	ご意見については、P49の基本目標3「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。
5	大塚万紀子	<u>P60主な取組み「患者の治療と仕事の両立支援」に関連して、おそらく今後は「コロナとの両立」のようなものもテーマになってくと思う。コロナは一度感染すると2週間程度、職場から離れなければならないということが現状であり、これはしばらく続くと思うので、<u>欠員というものが常に企業には出るものであるという前提で働き方改革を加速せねばならない。</u></u>	ご意見については、P49の基本目標3「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。
6	白河桃子	<u>女性やシングルマザー、高校ぐらいの子ども食堂の対象でもなく、かといって親の支援もあまり受けられない方々が、図書館なども閉まって本当に居場所がない、バイトもないということで、困窮度が極めて大変なところがある。<u>若い世代への支援など、そういったようなものについて、元の事業とは違っても、こういうことを行いました、というものを逆に記載してもよいのではないか。</u></u>	ご意見については、各小柱の「その他、アフターコロナも見据えてコロナ臨時交付金を活用して実施した主な事業」に記載しています。

部会意見整理表（基本目標4に関する意見）

		委員意見	
	委員名	意見	県の対応（案）
1	萩裕美子	<p><u>スポーツはなかなかバーチャルやインターネットで、というわけにはいかないが、そうした中でも、どのようにしたらできるか、ということを考えていく必要がある。子どもたちの体力の低下も心配であるし、高齢者にとっては1日1日、1年1年が非常に重要なので、そういう方々がコロナのせいでイベントが無くなってしまおうとか、できない、といったことにならないように、何か工夫をしながらできることをやっていくというような、次の展開を期待したい。</u></p> <p>※会議後の追加意見（メール） 「生涯を通じた豊かなスポーツライフの基礎づくり」について、総合型地域スポーツクラブ等への働きかけに関して、部活動が本格的に地域で実施していく方向で進んでいる。この辺りの情報提供と具体的な取組みが今後、必要になってくると思われる。</p>	<p>ご意見については、P 63の基本目標4「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
2	ジギヤン・クマル・タパ	<p><u>多くの外国人が日本で内定をもらっても入国できないという話をよく聞く。人の移動ができなくなっていて、いつまで続くか分からない中で、日本国内にいるそういった外国人が続けて日本に定住していけるような仕組みをきちんと確保できるようにしていけたらよい。県としては、県内にいるそういった外国人が安心して暮らしていけるような取組みを進めていくとよい。</u></p>	<p>ご意見については、P 63の基本目標4「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
3	加茂圭子	<p><u>横のネットワークづくりというところがあるとよいのではない</u>か。物資にしても情報にしてもやはり横のつながりで、緊急時のときにはつながっていくという効果もある。</p>	<p>ご意見については、P 63の基本目標4「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
4	野村正人	<p>交通関係で言うと、MaaSなど、いろいろな乗り物を組み合わせ、検索から予約、決済まで一体化できるというものが、非常に今後のひとの流れ、外出等の意欲をさらに伸ばしていくような方策と思う。MaaSは、今は交通事業だけではあるが、<u>医療施設や観光施設など、この辺りとの組合せというものも諸外国では一部できている。いろいろな異業種の方などの意見を伺いながら、組み合わせの中で、神奈川の中でどのような移動をしていくのか、神奈川にどのような人を引っ張って来られるのかということを検討できたらよいのではないか。</u></p>	<p>ご意見については、P 63の基本目標4「神奈川県地方創生会議からの意見」に記載しました。</p>
5	西川りゅうじん	<p>アスベストについて、これは健康と環境のことと関係すると思うが、直近の問題として、アスベストがあらゆる建物の中に使われていて、今まではある種、なあなあにしていたところがあったと思うが、この点についても、やはり神奈川県として考えていくべきかと思う。実際にしっかりと検査して、アスベスト対策を行っていかないといけない段階に入っていると思う。</p>	<p>ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。</p>